

2024.4.30 (水)

子どもの時間、セミの時間

そのまま、梅雨入り?という話しも出てくるくらい、曇天が続いています。



沖縄では、セミの鳴き  
声が聞こえてきました。

イワサキクサゼミ (*Mogannia minuta*) は、カメムシ目 (半翅目) ・セミ科の昆虫です。日本に分布するセミの中では最小の種。上の画像のどこにいるかわかりますか？



左；小指の先ほどの小さなセミです。サトウキビ畑の近くでジーって鳴いています。でも、集中しないと聞き逃してしまうかも。近くによると、鳴くのをやめてしまいます。しばらくすると、再び鳴き始めるので、探してみてください。静かに近づくとだいぶ近くまで寄ることができますよ。



左；鳴いていなかったため、この時は雄か雌かは、見分けることは出来ませんでした。セミの仲間は、雄だけが鳴くことは知ってますね。セミは寿命が短いことでも有名ですが、調べたら5～13日とあったので、「（地上に出たからの）セミの命は1週間よりは長いようですね。」

フランスの哲学者であるポール・ジャネーと、その甥である心理学者ピエール・ジャネーが著述したことから「ジャネーの法則」として知られる考え方では、人間の体感時間はそれまで生きてきた年齢に反比例すると説明されます（一つの考え方です。科学的根拠はないようです）。小学校4年生10歳の子どもが感じる1年は、10年のうちの1年なので人生の10%。30歳の大人の1年は1/30で3%。50歳で2%。同じ1年（1日、1時間）でも、小学4年生と50歳の大人とでは、小学4年生のほうが5倍も時間を長く感じるかもしれません。セミが10日生きるとして、彼ら（彼女ら）の1日は、人生の10%なので、それは、それは、貴重な一日と言えるかもしれませんね。

学校では、毎日8:50から10分間の朝の学習を行っています。たった10分ですが、大人の10分より5倍も価値のある10分間です。遅刻するなんてもったいないよ。